

この説明書は、ご使用の前に必ずお読みください。  
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

## 解熱鎮痛薬

### 頭痛歯痛ケロン

第②類医薬品

頭痛歯痛ケロンは、頭痛・歯痛・生理痛などの痛みや発熱に効果のある成分を配合した解熱鎮痛薬です。

#### ⚠ 使用上の注意

#### ❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

- 次の人は服用しないでください
  - 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
  - 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
  - 15才未満の小児。
  - 出産予定日12週以内の妊婦。
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください  
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬
- 服用前後は飲酒しないでください
- 長期連用しないでください

#### 🗨 相談すること

- 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

- 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- 授乳中の人。
- 高齢者。
- 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- 次の診断を受けた人。

心臓病、腎臓病、肝臓病、  
胃・十二指腸潰瘍

- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性ありますので、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胸やけ、胃もたれ、胃腸出血、腹痛、下痢、血便
精神神経系	めまい
その他	鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、発熱、のどの痛み、背中への痛み、過度の体温低下

まれに次の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

(裏面もお読みください。)

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群、 中毒性表皮壊死融解症)	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらくらとする、血尿等があらわれる。

3.5~6回服用しても症状がよくなる場合、服用を中止し、この説明書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

### 効能・効果

- 1) 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛
- 2) 寒寒・発熱時の解熱

### 用法・用量

次の量を、1日2回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用してください。服用間隔は6時間以上おいてください。

年 齢	1回量
成人(15才以上)	1包
15才未満	服用させないこと

〈用法・用量に関連する注意〉

用法・用量を厳守してください。

成分・分量 2包(1日2回量)中

成 分	分量
アセチルサリチル酸 (アスピリン)	1200mg
カフェイン水和物	120mg
ケイヒ末	200mg

添加物としてバライシヨテンブンを含有します。

(1包:900mg)

### 保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4) 表示の期限を過ぎたものは服用しないでください。

### お問い合わせ先

くすり相談窓口 ☎(076)435-5055

午前9時から午後4時30分まで

(土、日、祝日を除く)

製造販売元 第一薬品工業株式会社  
富山市草島15-1